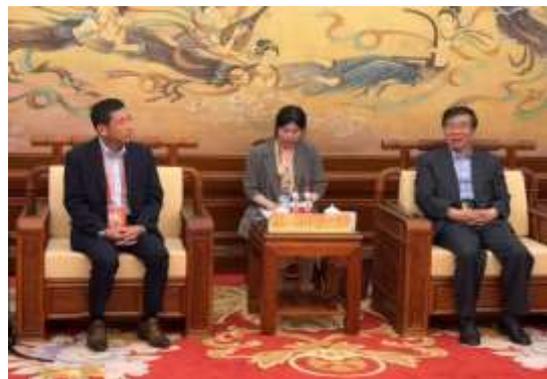


## 中国側の発言

劉洪才・中国国際交流協会副会長

(5月29日、敦煌・天河大酒店)

中国国際交流協会を代表して、皆様のような民間組織の中日友好代表団の来訪を心より歓迎します。北京ではなく敦煌でお迎えできて大変うれしいです。なぜかという、中日間の友好の歴史は長く、原点は古くに遡ることができます。今回、敦煌以外にも新疆ウイグル自治区に全団員が訪れると聞いています。新疆でもこの季節はとてもよい季節です。敦煌の歴史、文化、風景の延長線上に新疆があると思います。敦煌や新疆は、中国からインド、西アジアの国々に行くために通らなければならぬ要衝であり、重要なシルクロードの通り道です。



今回の訪問を通じて、皆様には昔の中国、そして現在の中国、少数民族が暮らしている地域についてより多く知っていただきたいと思います。そして両国間の友好関係、特に民間交流の増進につながればと思います。改めて歓迎の意を表します。

韓正・国家副主席の基調報告

(5月30日、敦煌・国際会議展示センター)

中国政府を代表して、本会議の開催に祝意、ご来賓の出席を歓迎する。文明間の交流と相互学習は、人類文明の進歩と世界の平和的発展を推進する重要な原動力である。

習近平主席は「文明は交流によって多彩となり、相互学習によって豊かになる」と指摘している。本日私たちが立つこの敦煌は、古代シルクロードが交わる場所であり、世界4大文明、5大宗教、さらには各地の民族が集うところである。時空を超えて輝く文化は、中華文明が諸文明と長きにわたり交流・融合してきた成果にほかならない。



古代シルクロードは1000年以上にわたり、平和協力・開放包容・相互学習・互惠 Win-Win を中核とするシルクロード精神を体現し、東西の平等な発展と文明交流を促進してきた。その沿線国の人々は皆、その恩恵を享受してきた。

今回の会議は「シルクロード精神を発揚し、グローバル文明イニシアティブの実践を力強く進める（中文：弘扬丝路精神 汇聚落实全球文明倡议的强大力量、英文：Carrying Forward the Silk Road Spirit to Gather Momentum for the Implementation of the Global Civilization Initiative）」をテーマに対話と交流を行うもので、大きな意義がある。2023年3月、習近平主席はグローバル文明イニシアティブを提唱し、(1) 世界の文明多様性の尊重、(2) 人類共通の価値の発揚、(3) 文明の継承と革新の重視、(4) 国際的・文化的交流協力の強化を共に呼びかけた。

各国の未来と運命が緊密に結ばれている今日、異なる文明が共存し、交流と相互学習を深めることは、人類の共通進歩と世界の繁栄発展に寄与する。ここで4つの考えを共有したい。

第1に、相互尊重と相互成就。文明の多様性を尊重することは、文明間交流の大前提である。各国・各民族の文明は独自性を持ち、それぞれに価値がある。文明に優劣はなく、人類文明の花園は互いに輝きを放つ。平等な交流、包容的な相互学習により、諸文明がそれぞれの長所を活かし、美しさを分かち合うことができる。

第2に、求同存異（相異を認め、共通点を求めていく）。世界の文明はそれぞれの土壌に根ざし、共通点もあれば違いもある。人類共通の価値観は多くの文明の共通認識を結集し、各国人民の期待と追求に応えるものである。私たちはこの価値観を絆として長所を取り入れ、手を携え、文明交流の壁を打破し、多様な文明の養分を取り込み、リスクや課題に共に立ち向かい、人類文明の輝かしい未来を守らねばならない。

第3に、時代とともに前進し、正道を守り革新する。人類の長い歴史の中で、各文明は継承のなかで発展し、変革のなかで模索し、取捨のなかで進歩してきた。正道の堅持と革新は相互促進の関係にある。今日、私たちはより一層、文明の継承と革新を重視し、各国の歴史文化が現代に持つ価値を掘り起こし、優れた伝統文化の現代化における創造的転換・革新的発展を推し進め、人類文明の火を次世代へと継いでいく必要がある。

第4に、真摯な対話と互惠協力。中国は文明間対話と協力の提唱者であり実践者である。実際の行動を通じて相互学習を促進してきた。昨年、中国は「文明対話国際デー」の設置を提案し、国際社会から広く支持を得た。私たちは国際的な人的・文化的交流を絶えず強化し、対話とコミュニケーションを通じて隔たりや誤解を解消し、相互理解と友情を深め、文明間の調和ある共存を推進し、各国の人々の相知と親近感を高めていかなければならない。

皆様、2000年以上前、私たちの先人は友好と交流の願いを胸に古代シルクロードを開き、人類文明史上の大交流時代の幕を開けた。現在、中国は中国式現代化によって強国建設と民族復興の偉業を全面的に推進している。中国式現代化は人類文明の新しい形態として、他文明との相互参照を図り、世界文明の発展に独自の知恵を提供している。中国は歴史の正しい側、人類文明の進歩の側にしっかり立ち、各国とともにグローバル文明イニシアティブを積極的に実行し、シルクロード精神を大いに発揚し、高品質な「一帯一路」共同建設を深化・実践し、人類文明の進歩に強大な原動力を注ぎ込んでいく。

本対話会は各国文明の交流と相互学習を促進する重要な契機。ご来賓の皆様には、この機会を存分に活用して交流を深め、共通認識を形成し、文明間交流の推進、グローバル文明イニシアティブの実践に知恵と力を大いにご提供いただくことを期待する。

朱立凡・新疆ウイグル自治区人民政府副主席

(6月2日、ウルムチ・新疆崑崙賓館)

中国共産党第18回党大会以来、習近平主席は新疆の発展に関し重要な指示を繰り返し下してきた。主席は2022年と2023年の2年連続で新疆を視察し、新時代の新疆発展戦略を明示した。これらの指示を受け、新疆の様相は旧来と大きく変化している。

第1に、新疆はユーラシア大陸を結ぶ「黄金の回廊」の要衝である。従来、中国の対外開放と言えば沿海部（長江デルタや珠江デルタ）を指すことが多かったが、現在は新疆が中央アジア・欧州へ抜ける最前線に立つ。年間1万本強の中欧班列が新疆ルートを通り、物流ハブとしての存在感を高めている。2020年以前、新疆の輸出入総額は1,000億元未満であったが、2022年に約2,000億元、2023年には約3,600億元に拡大した。新疆は8カ国と国境を接し、総延長5,700kmの国境線と19の対外開放港（口岸）を有し、もはや「内陸」ではなくユーラシアを結ぶ結節点となっている。



第 2 に、新疆は中国有数のエネルギー基地である。石油・天然ガスの探明埋蔵量はいずれも全国の約 20%、石炭は約 40%を占める。石炭の年間生産量は 2022 年の約 2 億トンから 2023 年には約 4.3 億トンへ倍増した。太陽光・風力など新エネルギーの導入も進み、昨年からの発電量に占める新エネルギー比率は化石エネルギーとほぼ半々となった。全国に送電される電力の相当部分を新疆が担い、鉱物資源でも十数種が全国 1 位の埋蔵量を示している。資源関連企業の新疆進出も加速している。

第 3 に、新疆は優れた農畜産物の一大生産地である。直近 2 年間の食糧生産伸び率は全国 1 位であり、2023 年の小麦単位収量も全国トップを記録した。綿花、果物、畜産物など多様な農産物が国内外市場に供給されている。

第 4 に、新疆は国家安全保障の「西の壁」である。長大な国境線の安定は国家全体の安全と直結する。観光面でも 2023 年には延べ 2.65 億人以上が新疆を訪れ、観光収入は約 2,960 億元に達した。中央アジア諸国をはじめ国外からの旅行者も増加傾向にある。日本の皆様にもぜひ新疆を訪れ、その広大さと多彩な文化を体感していただきたい。

本日この場には「大美新疆」と題した展示を置いている。新疆の壮大な景観、美しい四季、独特の民族文化を示すものであり、現地を訪れば中国の広さと美しさを実感できるはず。皆さまが今回の訪問で新疆全域を巡ることは難しいかもしれないが、次の機会にはぜひ異なる季節と地域を楽しんでいただきたい。とりわけこの季節は伊犁の草原が最も美しいと言われ、アルタイ地区は「中国のスイス」とも称される。昨年話題となったドラマ『我的阿勒泰』の舞台もそこにある。また新疆発の楽曲「リンゴの香り」もぜひお聴きいただきたい。こうした新疆の魅力を、日本へ帰られても周囲へ広めていただければ幸いである。

以上